

令和元年度 施策評価表

施策	0305	図書館の充実と整備	施策担当部等	教育委員会	部長	吉村 武史
			施策担当課等	図書館	館長	鈴木 章子
施策の方針	図書館の機能を充実させるとともに、市民の読書活動を推進する。また、県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備を進める。					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 市民一人当たりの年間貸出冊数	冊	5.02	5.06 4.70	3.15 3.80	3.43 3.49	3.31	7.00	101.7%	49.9%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

仮事務所や公民館図書室を中心に、図書サービスの提供を継続した。平成30年度の図書館や公民館図書室など全体の貸出冊数は、前年比約2万8千冊、7.7%減少したものの、公民館や住民センター図書室の貸出冊数は、2年連続して、前年比約1,700冊、2.3%増加した。
 10月5日（土）のグランドオープンに向けた開館準備を着実に実施しながら、引き続き図書等の整備や開館情報の発信を行い、市民の読書活動の推進に取り組んでいく。
 次に、ミライオン図書館の本体建設工事は平成31年1月をもって竣工した。今後は、多くの利用者の方が安全で快適に過ごせる空間を維持するために、施設設備、備品、駐車場及び周辺緑地帯の植栽等の適切な維持管理に取り組んでいく。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,665,000	284,410	205,525	
	国庫支出金	443,886	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	935,200	0	0	
	その他	127,614	121,880	83,600	
	一般財源	158,300	162,530	121,925	
	人件費	75,007	68,974	-	
フルコスト	1,740,007	353,384	-		

施策の概要

030501	図書館の充実	市民の読書活動や課題解決をサポートするため、図書資料を幅広く収集、整理、保存するとともに、レファレンス・サービスの強化に努めます。
030502	読書活動の推進	市民の読書活動を推進するため、講演会等の様々なイベントを開催します。また、幼稚園、保育所（園）、認定こども園等で「出張おはなし会」を行うなど、子どもの読書活動を推進します。
030503	県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備	市民の知識や知恵を育み、学びや暮らしを支える知的活動の拠点として、県立図書館と市立図書館の合築による一体型図書館の整備を進めます。整備にあたっては、同一の書架や共同の窓口カウンターを設置し、利用者の利便性向上を図るとともに、県内外から人々が訪れる新たな交流拠点として、出逢いにあふれた楽しい図書館づくりを推進します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>① ミライオン図書館オープンによる図書館サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月5日のグランドオープンに伴い、新たに取り組む「課題解決支援サービス」の準備 ・公民館図書室の分室化に伴い、ミライオン図書館図書の受取りや返却の手続きが行えるよう機能連携を図るなど、市内広域サービスの充実 ・対面朗読室の設置やボランティアと連携した新たな図書館サービスの提供 <p>② 子どもの読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティア登録制度の構築のより、登録ボランティアとの協働を推進し、出張おはなし会（絵本の読みかせ等）を開催 ・学校図書館及び学校司書との連携を強化し、図書館司書との合同研修会等の開催 ・子どもの読書活動推進のため、ミライオン図書館オープン等に伴う子どもたちの読書環境の変化に対応した「第2次大村市子ども読書活動推進計画（仮称）」の策定 <p>③ 安全で快適なミライオン図書館施設の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備、空調設備、衛生設備等利用者の点検の実施 ・駐車場、駐輪場及び敷地内の緑地帯等の安全管理 ・施設・設備の効率的かつ包括的な管理の検討
-------------------------	--

【CHECK（評価）評価調整委員会】

--	--

【ACTION（改善・改革）】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>① 子どもの読書活動推進</p> <p>第2次子ども読書活動推進計画（仮称）に基づき、学校図書室との連携を深め、市内小中学校からの施設見学受入や団体貸出制度を利用した学校図書室への図書貸出を強化します。</p> <p>また、図書館の分室となる公民館図書室（郡・中地区）、住民センター図書室の図書整備（新規購入）の強化し、市内全域の読書活動推進を図ります。</p> <p>登録ボランティアを活用し、「おはなしのへや」などで開催するおはなし会や、保育園や学童クラブなどへ出かけていく「出張おはなし会（絵本の読みかせ等）」により一層取組、小さい子どもの読書活動を推進する。</p> <p>② 新しい魅力にあふれた図書館の創出</p> <p>これまでの図書館サービスに加え、より一層市民に必要とされる図書館をめざし、市民の生活や仕事に役立つ情報を積極的に図書館から発信し、提供する「課題解決支援サービス」に取り組む。</p> <p>また、多目的ホール、研修室等を活用し、これまでの図書館になかった新しいテーマや題材の講演会やイベントにも取り組み、そこに訪れる様々な人々の交流の機会を提供することで、より多くの来館者数を達成する。</p> <p>③ 施設維持管理業務の効率化</p> <p>設備の種類や点検内容ごとに細やかに締結した業務委託契約事務に要した負担を軽減する必要がある。平成31年度契約事務に要した時間や契約金額の実績をみながら、業務委託の統合や複数年契約（長期継続、債務負担）の活用などの検討を実施する。</p>
---	---

令和2年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	R2年度見込		対象・事業概要など
		事業費（千円）		
1				
2				
3				
4				
5				
		0		